

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 2基金費

目 1財政調整基金積立金 事務事業番号 12020101

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳				
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源	
財政調整基金積立金		1,398,274 千円	千円	千円	923,901 千円	474,373 千円	
財政部財政課							
根拠法令	苫小牧市財政調整基金条例						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。						
事業の必要性	歳入の大幅な落ち込みや災害などの不測事態に対応するため、標準財政規模の5%以上（約20億円以上）の残高確保を目標に基金に積み立てます。						
事業の内容	平成28年度末基金残高 3,223,874,680円 平成29年度基金積立金 1,398,274,678円 平成29年度基金取崩し額 954,765,216円 平成29年度末基金残高 3,667,384,142円						
コスト		人件費					
事業費 (H29年度決算額)	1,398,274 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
人件費	35 千円		担当正規職員	35 千円	0.005	人	
総 計	1,398,309 千円		嘱託職員	千円		人	
			再任用(フル)	千円		人	
			再任用(ハーフ)	千円		人	
			臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名			単位	H29年度	H28年度	H27年度
	基金の年度末残高			千円	3,667,384	3,223,875	2,997,446
成果目標	標準財政規模の5%以上（約20億円以上）の残高を維持します。						
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
自己評価の理由	目標とする基金残高を維持できたため、事業の有効性及び効率性は高いと考えます。						
事業の課題、今後の方向性等	平成29年度末の基金残高については目標額を確保できましたが、平成30年度当初予算の財源対策として財政調整基金から1,274,716千円を取り崩すため、差し引くと、実質は約24億円の残高となります。今後も安定的で柔軟性のある財政運営のために現状の残高は確保していきたいと考えます。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 2基金費

目 2減債基金積立金

事務事業番号 12020201

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
減債基金積立金		657,421 千円	千円	千円	13,496 千円	643,925 千円
財政部財政課						
根拠法令	苫小牧市減債基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。					
事業の必要性	経済事情の変動等による財源不足や市債の償還額が多額となる場合等の将来に備えて積立を行う必要があります。					
事業の内容	平成28年度末基金残高 1,812,360,480円 平成29年度基金積立金 657,420,585円 平成29年度基金取崩し額 300,217,000円 平成29年度末基金残高 2,169,564,065円					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	657,421 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
		担当正規職員	35 千円	0.005 人		
人件費	35 千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
総計	657,456 千円	再任用(ハーフ)	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	基金の年度末残高		千円	2,169,564	1,812,360	1,585,981
成果目標	基金を積み増しします。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	基金残高を増やすことができ、事業の有効性及び効率性は高いと考えます。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の施設の老朽化対策等に伴う市債の増に備えて、経済事情の変動等による歳入減に対応可能な基金として機能できるような積立が必要と考えます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 2基金費

目 3公共施設整備基金積立金 事務事業番号 12020301

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳				
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源	
公共施設整備基金積立金		112,014 千円	千円	千円	92,014 千円	20,000 千円	
財政部財政課							
根拠法令	苫小牧市公共施設整備基金条例						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	施設の整備に要する経費の財源に充てるため、予算で定める額を基金に積み立てます。						
事業の必要性	老朽化した公共施設の統廃合を含めた更新に備えて積立を行う必要があります。						
事業の内容	平成28年度末基金残高 1,809,870,806円 平成29年度基金積立金 112,014,392円 平成29年度基金取崩し額 4,754,000円 平成29年度末基金残高 1,917,131,198円						
コスト		人件費					
事業費 (H29年度決算額)	112,014 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
人件費	35 千円		担当正規職員	35 千円	0.005	人	
総 計	112,049 千円		嘱託職員	千円		人	
			再任用(フル)	千円		人	
			再任用(ハーフ)	千円		人	
			臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名			単位	H29年度	H28年度	H27年度
	基金の年度末残高			千円	1,917,131	1,809,871	1,729,869
成果目標	基金を積み増しします。						
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
自己評価の理由	基金残高を増やすことができ、事業の有効性及び効率性は高いと考えます。						
事業の課題、今後の方向性等	今後の施設の老朽化対策等に伴う事業費の増に備えて、経済事情の変動等による歳入減に対応可能な基金として機能できるような積立が必要と考えます。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 2基金費

目 4総合戦略推進基金積立金 事務事業番号 12020401

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
総合戦略推進基金積立金		75,000 千円	千円	千円	75,000 千円	千円
総合政策部政策推進課						
根拠法令	苫小牧市総合戦略推進基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	まち・ひと・しごと創生法第10条の規定により定める苫小牧市総合戦略の推進に要する経費の財源に充てるため基金を設置しています。					
事業の必要性	ふるさと納税による寄附金の積立を行い、苫小牧市総合戦略に位置付ける施策へ充当することにより、事業の推進を図るため必要性の高いものです。					
事業の内容	平成28年度末基金残高 0円 平成29年度基金積立金 75,000,000円 平成29年度基金取崩し額 0円 平成29年度末基金残高 75,000,000円					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	75,000 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	345 千円		担当正規職員	345 千円	0.05	人
総 計	75,345 千円		嘱託職員	千円		人
			再任用(フル)	千円		人
			再任用(ハ-7)	千円		人
			臨時職員	千円		人
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	基金の年度末残高		千円	75,000		
成果目標	【基金から施策への充当額】 平成29年度 0円 (実績) 平成30年度 33,258,000円 平成31年度 60,500,000円					
自己評価	事業の有効性 (効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性 (費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	基金設置初年度であるため、充当額も時期による制限はあったものの、返礼品等の必要経費を除く約3千万円を総合戦略関係事業に充当しており、費用対効果は高いと評価しています。					
事業の課題、今後の方向性等	今後も基金の適切な管理に努め、総合戦略推進を図るため継続的に実施していきます。					
特記事項						